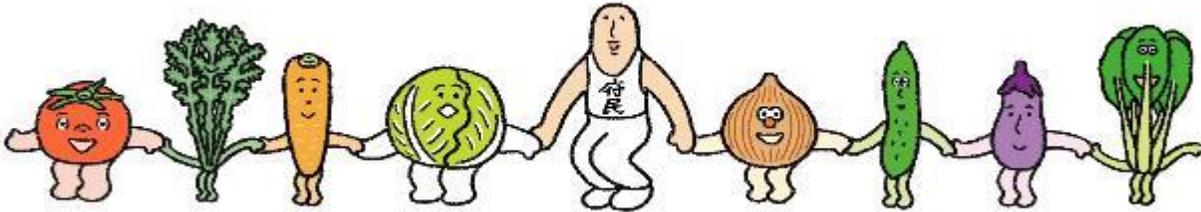


資料1	令和8年3月17日
	令和7年度 大阪府食育推進計画評価審議会

# 大阪府食育推進計画評価審議会 第4次大阪府食育推進計画 令和7年度PDCA進捗管理票



大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課

第1章 第4次計画の基本的事項

1 計画策定の趣旨

府民が生涯を通じて健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現するため、府民の食生活における課題を把握し、その解決を図るための取組みを総合的かつ計画的に推進するために策定

2 計画の位置づけ

- ・食育基本法第17条に基づく都道府県計画
- ・大阪府健康づくり推進条例（H30.10）
- ・府関連計画との整合

医療計画、健康増進計画、歯科口腔保健計画（R6.3）  
教育振興基本計画（R5.3）食の安全安心推進計画（R5.3）  
循環型社会推進計画（R3.3）食品ロス削減推進計画（R3.3）

3 計画の期間

令和6（2024）年度から令和17（2035）年度までの12か年  
中間評価を令和11（2029）年度、最終評価を令和17（2035）  
年度に実施予定

第2章 第3次計画の評価

評価概要 計画期間内の数値で評価をした13項目

区分	評価	項目数
A	目標値に達した	5
B	ベースライン値と比較して改善傾向にある	4
C	ベースライン値と同程度で、明確な改善傾向も悪化傾向もみられない	2
D	ベースライン値よりも悪化している	2

【成果】

よく噛んで食べることに気をつけている府民の割合  
食育に関心を持っている府民の割合

【課題】

地域や職場等の所属コミュニティで共食したい人の共食割合  
食育推進に携わるボランティアの増加

第3章 府民の食育をめぐる現状と課題

1 社会情勢の変化

食育を通じた持続可能な開発目標（SDGs）への貢献  
「新しい生活様式」とデジタル化の進展

2 身体状況

肥満・やせの状況、低栄養傾向者の状況

3 食生活と歯と口の健康

府民の食生活：栄養バランス、野菜、果物、食塩、朝食  
歯と口の健康：咀嚼への意識及び咀嚼良好者の状況  
食をとりまく環境：保育所・学校等、外食等、共食

4 食の安全安心

食の安全安心に関する情報発信

5 食の生産・流通・消費

大阪府の農業・漁業の状況  
農産物に対する理解を深める取組み状況  
大阪産(もん)に対する府民のニーズ  
食品ロスの発生状況、食文化の継承

第4章 基本的な考え方

第5章 取組みと目標

【基本理念】全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会～いのち輝く健康未来都市・大阪の実現～

【基本目標】食を通じた健康づくり/食を通じた豊かな心の育成/自然に健康になれる持続可能な食環境づくり

【基本方針】健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進/食育を支える社会環境整備

(合言葉) 野菜バリバリ朝食モリモリ！みんなでつなぐ大阪の食

【基本方針】健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進

府民の行動目標	具体的な取組み	主な取組みの目標	現状値	目標値
<p>▶健康的な食生活の実践の促進</p> <p>生涯を通じて健やかな生活を送ることができるよう、栄養バランスのとれた食事、朝食や野菜摂取、食塩をとりすぎないこと、よく噛んで食べること、適正体重等の重要性を理解し、習慣的に実践します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での健康的な食生活の実践を促す取組み</li> <li>・多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる取組み 地域等での共食の推進/子ども食堂への支援/ 身近な地域で相談できる体制の推進</li> <li>・社会の変化に即した新しい食育の推進 自然に健康になれる食環境の整備/デジタル化に対応する食育の推進</li> <li>・食品関連事業者等との連携による健康的な食生活の実践を促す取組み 外食や中食、給食施設における取組み 健康づくりに役立つ食品表示の活用を促す取組み</li> <li>・ライフステージに応じた取組み 保育所・認定こども園・幼稚園における取組み/小・中学校等における取組み 高等学校等における取組み/大学や職場等における取組み 高齢者の低栄養予防のための取組み /ライフコースアプローチを踏まえた取組み</li> <li>・歯と口の健康づくりの取組み</li> <li>・災害時に備えた食育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスのとれた食生活を実践する府民の割合の増加</li> <li>・朝食を欠食する府民の割合の減少（20-30歳代）</li> <li>・野菜摂取量の増加（20歳以上）</li> <li>・果物摂取量の増加（20歳以上）</li> <li>・食塩摂取量の減少（20歳以上）</li> <li>・よく噛んで食べることに気をつけている府民の割合の増加</li> <li>・小・中学校で栄養教諭等による食に関する指導の1校あたりの年間平均取組回数</li> <li>・V.O.S.メニューロゴマーク使用承認件数</li> <li>・朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数</li> <li>・地域や職場等の所属コミュニティで「共食」する割合</li> </ul>	<p>45.9%</p> <p>24.8%</p> <p>256 g</p> <p>91.2g</p> <p>9.7 g</p> <p>65.2%</p> <p>113.8回</p> <p>1,210件</p> <p>週9.0回</p> <p>38.3%</p>	<p>60%以上</p> <p>15%以下</p> <p>350 g 以上</p> <p>200 g</p> <p>7g未満</p> <p>70%以上</p> <p>130回以上</p> <p>2,000件</p> <p>週11回以上</p> <p>40%以上</p>

【基本方針】 健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進				
府民の行動目標	具体的な取組み	取組みの目標	現状値	目標値
<p>▶食の安全安心の取組み 食品の選び方や適切な調理・保管の方法等、食の安全安心に関する基礎的な知識を学び、その知識を踏まえて行動します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の安全安心の情報提供の推進 正確でわかりやすい食の安全安心に関する情報の提供</li> <li>・食に関する社会の動向を踏まえた食品衛生に関する情報の提供</li> <li>・食品表示の理解促進 食品表示に関する基礎的知識の普及</li> <li>・リスクコミュニケーションの促進 食の安全に関するリスクコミュニケーションの促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府食の安全安心メールマガジンの登録者の増加</li> <li>・大阪府の食の安全安心関連ホームページのアクセス数の増加</li> </ul>	<p>9,931人</p> <p>45万PV</p>	<p>15,000人以上</p> <p>120万PV以上</p>
<p>▶生産から消費までを通じた食育の推進 生産から消費に至る食の循環を意識し、大阪でとれる農林水産物等を積極的に利用するとともに、食品ロスの削減に主体的に取り組み、地域や家庭で受け継がれてきた郷土料理、伝統食材等の食文化を次世代に伝えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の推進 食の生産・流通に関する体験・交流の促進 大阪産農林水産物の利用促進及び消費拡大 大阪産農林水産物を府民が身近に触れられる場の情報発信</li> <li>・環境と調和のとれた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進</li> <li>・食品ロスの削減</li> <li>・食文化の継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理等の地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかい等の食べ方・作法を継承し、伝えている府民の割合の増加</li> </ul>	<p>58.4%</p>	<p>30%以上</p>
<p>▶万博を契機とした食育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな食文化の提案</li> <li>・持続可能な食を支える食育の推進</li> </ul>			

【基本方針】 食育を支える社会環境整備				
府民の行動目標	具体的な取組み	取組みの目標	現状値	目標値
<p>▶多様な主体による食育推進運動の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を府民運動とする機運を高める取組み</li> <li>・「大阪府食育推進強化月間」及び「野菜バリバリ朝食モリモリ推進の日」の取組みの充実</li> <li>・市町村食育推進計画の策定促進と施策の推進</li> <li>・食に関するボランティア等が行う食育活動への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関心を持っている府民の割合の増加</li> <li>・食育推進に携わるボランティアの増加</li> </ul>	<p>66.3%</p> <p>4,642人</p>	<p>75%以上 増加</p>
<p>▶多様な主体が参画したネットワークの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪府食育推進ネットワーク会議」参画団体や民間企業との連携・協働</li> </ul>			

**第6章 計画の推進体制**

**1 計画の推進体制**

オール大阪の推進体制/庁内の推進体制/地域における推進体制

**2 進捗管理**

**3 計画を推進する各主体の役割**

府民/大阪府/市町村/保育・教育関係者/職場/保健医療関係団体/食品関連事業者等/生産者/地域組織・ボランティア団体・NPO法人等  
大阪府食育推進ネットワーク会議/家庭

# 1 健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進

## (1) 健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進 計画 P.37-42

### 【府民の行動目標】

▽生涯を通じて健やかな生活を送ることができるよう、栄養バランスのとれた食事、朝食や野菜摂取、食塩をとりすぎないこと、よく噛んで食べること、適正体重等の重要性を理解し、習慣的に実践します。

ライフステージに応じた健康行動	乳幼児期～学齢期	食べることを楽しみ、栄養・食の大切さを学び、成長段階に応じて望ましい食習慣を身につけます。
	青年期～成人期	自分のライフスタイルに合った健康的な食生活を実践します。生活習慣病の発症・重症化に留意し、健康的な食生活を実践・維持します。
	高齢期	低栄養予防等、個々の健康状態に合った食生活を実践し、食を通じて豊かな生活を実現します。

### 【取組みの目標】

○：改善 △：維持・悪化

	項目	計画策定時の値	現状値	2035年度目標値	
1	栄養バランスのとれた食生活を実践する府民の割合の増加（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている府民の割合）	49.6% (R4)	45.9% (R7) [△]	60%以上	
2	朝食を欠食する府民の割合の減少 策定時：H29-R1平均	7～14歳	5.1%	R4-R6の結果を R9年度に公表予定	0%
		15～19歳	14.5%		5%以下
		20～30歳代	24.8%		15%以下
3	野菜摂取量の増加 策定時：H29-R1平均	7～14歳	237 g	R4-R6の結果を R9年度に公表予定	300g以上
		15～19歳	259 g		350g以上
		20歳以上	256 g		350g以上
4	果物摂取量の増加 策定時：H29-R1平均	20歳以上	91.2g	R4-R6の結果を R9年度に公表予定	200g

1：大阪府健康づくり実態調査（大阪府）

2・3・4：大阪府民の栄養・健康状況（大阪府）（国民健康・栄養調査から算出）（厚生労働省）

項目		計画策定時の値	現状値	2035年度目標値	
5	食塩摂取量の減少 策定時：H29-R1平均 20歳以上	9.7g	R4-R6の結果を R9年度に公表予定	7g未満	
6	よく噛んで食べることに気をつけている 府民の割合の増加	64.7% (R4)	65.2% (R7) 【○】	60%以上	
7	小・中学校で栄養教諭等による食に関する指導の 1校あたりの年間平均取組回数	88回 (R4)	113.8回 (R6) 【○】	130回以上	
8	V.O.S.メニューロゴマーク使用承認件数	791件 (R4)	1,210件 (R8.2月 末) 【○】	2,000件	
9	誰かと一緒に食べる 「共食」の増加	朝食又は夕食等を家族と一緒に 食べる「共食」の回数	週9.6回 (R4)	週9.0回 (R7) 【△】	週11回以上
		地域や職場等の所属コミュニ ティで共食する割合	29.6% (R4)	38.3% (R7) 【○】	40%以上

5：大阪府民の栄養・健康状況（大阪府）（国民健康・栄養調査から算出）（厚生労働省）

6・9：大阪府健康づくり実態調査（大阪府）

7：大阪府教育庁調べ

8：大阪府健康医療部健康推進室調べ

## 現状・課題

- ▽ 外食等を利用して栄養バランスのとれた食生活を実践できるよう、外食・流通産業等と連携した取組みの強化が必要です。
- ▽ 家庭だけでなく、地域での共食を推進していくことが必要です。
- ▽ 食育がより府民による主体的な運動となるためには、ICT（情報通信技術）やデジタルツールやインターネットを積極的に活用していくことが必要です。
- ▽ 府民一人ひとりが、健康的な食生活を実践できるよう、ライフステージ別の課題に応じた取組みが必要です。
- ▽ むし歯や歯周病予防のための歯と口の清掃習慣の改善が必要です。
- ▽ 食育がSDGsの達成に寄与するよう、取組みを進める必要があります。

## 本年度の 取組み

### ① 家庭での健康的な食生活の実践を促す取組み P37

■特に説明したい項目

- 教職員を対象とした研修の実施（オンデマンド開催を含む）  
大阪府栄養教諭連絡協議会、学校給食・食育研究協議会、健康教育等に関する管理職研修会 等
- 府内カフェ英国屋（一部店舗）における「V.O.S.プラスF（果物）」メニューの提供（8月末から1か月）

### ② 多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる取組み P38

《地域等での共食の推進》

- 大阪府栄養士会等による子ども料理教室の開催【2回】

《子ども食堂への支援》

- 新子育て支援交付金の優先配分枠に、居場所づくり事業を位置づけ、子ども食堂など居場所の整備を行う市町村を支援
- コンビニエンスストアと協力し、店内での子ども食堂において、子どもとその保護者を対象とした栄養・歯科に関する食育体験と講話を実施【4か所・43人】

《身近な地域で相談できる体制の推進》

- 大阪府栄養士会と連携し、栄養ケアサービスを提供する拠点を整備  
栄養ケア・ステーション登録栄養士数【271人】 無料栄養相談の実施【27件】  
日本栄養士会認定栄養ケア・ステーション【26団体】 大阪府栄養士会登録栄養ケアチーム【15団体】

### ③ 社会の変化に即した新しい食育の推進 P38

《自然に健康になれる食環境の整備》

- 食品流通企業等と連携し、健康無関心層を含めた府民を対象に食育イベントや啓発を実施  
（イベント）無印良品北花田店【9/21 217人参加】、イオンモール鶴見緑地店【2/1 176人参加】  
（ポップの掲出）イオングループ【9/1~9/30 33店舗】、食品館アプロ【9/1~9/30 48店舗】  
ローソンストア100【1/12~1/23 22店舗】
- 「府民の野菜摂取量アップ」をテーマにワークショップを実施（健活おおさか推進府民会議事業・公民連携デスクと共催）【11/19 42団体 48人参加】



コンビニで  
お野菜探検隊



モーニングV.O.S.  
プラスF（果物）  
メニュー



府内スーパー・コンビニでの啓発



食育イベント



ワークショップ

## 本年度の 取組み

《デジタル化に対応する食育の推進》

- 八尾特産えだまめのオンライン収穫祭イベントを開催し、ホームページに掲載
- 府健康アプリ「アスマイル」に食生活改善につながるコラムを投稿（10回）
- 健活10公式XやInstagramで食に関する情報を発信（93回）
- **SNS事業として、インフルエンサー「ひらさわけ」によるおおさかEXPOヘルシーメニューの制作と紹介**  
【Instagram閲覧数延べ123万回再生】

### ④ 食品関連事業者等との連携による健康的な食生活の実践を促す取組み P39

《外食や中食、給食施設における取組み》

#### ■ **V.O.S.メニュー※の提供拡大**

・味の素

V.O.S.メニュー情報を掲載したリーフレットの作成、スーパー店頭での配布【6月】

・森永乳業

府庁本館地下食堂での森永乳業考案V.O.S.メニュー期間限定提供

【6/23~27ミルク親子丼、8/18~22豆腐と夏野菜のイタリアン丼ぶり】

・大阪いずみ市民生活協同組合

「機関紙いずみ」でのV.O.S.メニューレシピの掲載、  
組合員およびスーパー店頭での配布【7月、3月】

・雪印メグミルク

おおさかEXPOヘルシーメニューの普及等を協力事項として事業連携協定  
を締結【12/2】

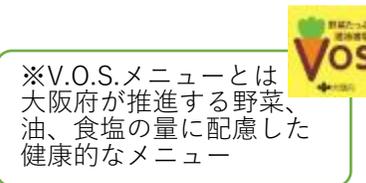
#### ■ 給食施設での取組み

・保健所管内の事業所において管内大学・管理栄養士養成校等と連携し、V.O.S.メニューを  
開発・提供

《健康づくりに役立つ食品表示の活用を促す取組み》

#### ■ 大阪府消費者フェア2025での啓発

動画にて食品表示の活用を啓発【10/17~11/10 web閲覧数延べ1,711人】



大阪いずみ市民生活協同組合  
機関紙



府庁本館地下食堂でのV.O.S.メニュー期間限定提供



雪印メグミルク事業連携協定締結式



## 本年度の 取組み

### ⑤ ライフステージに応じた取組み P40

《保育所・認定こども園・幼稚園における取組み》

- 普及啓発に向けた情報発信  
「食事プロセス PDCA」を府ホームページに掲載、児童福祉施設研修会等において紹介

《小・中学校等における取組み》

- 普及啓発に向けた教職員対象研修の実施  
健康教育等に関する管理職研修会、学校給食・食育研究協議会 等

《高等学校等における取組み》

- 大阪府立支援学校の食育公開研究授業の実施

《大学や職場等における取組み》

- やせ・肥満に関するモデル事業として、学祭や健康診断等で体組成測定を実施し、測定結果に基づき管理栄養士から指導・助言を実施【5大学（計363人）】

- 働く世代からのフレイル予防事業として、職域でのフレイルチェックの導入支援

- 府内全大学の健康管理担当者を対象に、学生の食生活や学内の食環境整備に関する情報交換会を実施  
【8/6 15大学25人、15保健所22人】

《高齢者の低栄養予防のための取組み》

- 「フレイル予防イベント」として、関係機関・企業と連携し、体組成・骨密度測定、栄養バランス・カルシウムチェック等の結果に基づき、「やせ」や「低栄養」の予防につながる食事のアドバイスを実施

【2/1 176人参加】

- 市町村に対し、低栄養予防を含むフレイル予防啓発資材の提供等で高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を支援

《ライフコースアプローチを踏まえた取組み》

- ライフコースアプローチの観点から踏まえた女性及び子どもの健康づくりに関するリーフレットを作成し、周知・活用

- 「健活キッズしんだんキャンペーン」を実施



健康キャンパスプロジェクト  
情報交換会



フレイルの日イベント



女性・子どもの健康づくりリーフレット

## 本年度の 取組み

### ⑥ 歯と口の健康づくりの取組み P41

- SNS (X、Instagram) や府健康アプリ「アスマイル」、府ホームページや啓発資材を活用した普及啓発
- 大阪府市町村歯科口腔保健推進連絡会の実施
- 大阪府歯科口腔保健推進研修会の実施  
テーマ「歯周病検診マニュアル2023」に基づく歯周疾患検診
- 全大阪よい歯のコンクール実施
- 「大阪府よい歯・口を守る学校・園表彰」、歯と口の健康標語コンクール、大阪府〈歯の保健〉図画・ポスターコンクールへの事業協力及び知事賞・教育委員会賞の授与
- 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業等を活用した歯科保健推進校への支援
- 全国小学生はみがき大会への事業協力
- **8020運動特別推進事業**（働く世代のための8020リテラシー向上事業）  
働く世代向けの啓発媒体を作成し企業等に配布
- 在宅医療N S T連携歯科チーム育成事業  
高次歯科医療機関及び、在宅N S T等との連携を行いながら  
医療圏完結型の経口摂取支援体制を支える歯科医療人材の育成【40人】
- **在宅高齢者の歯と口の健康向上推進事業**  
高齢者の口腔機能の維持・向上を図るため、介護支援専門員（ケアマネジャー）を対象にオーラルフレイル等に関する啓発資料を作成し、研修を実施（16地域で研修実施）
- **歯科相談会の実施**  
京阪百貨店守口店【5/25 72人】、無印良品グランフロント大阪【11/19 52人】
- イベントでオーラルフレイルの啓発  
イオンモール鶴見緑地店【2/1 111人】



歯科相談会（無印良品グランフロント大阪）



オーラルフレイルの啓発

本年度の  
取組み

⑦ 災害時に備えた食育の推進 P42

■ 企業・関係課と連携した府民への普及啓発

- ・非常食やローリングストック法等の情報を掲載したリーフレット「防災メシ」を作成し、府内スーパーで配布【9/1～】
- ・企業・庁内関係課との共催により、府民を対象とした防災イベントを実施【9/13 約1,000人】

■ 関係団体と連携した災害時の栄養・食生活訓練

- 府栄養士会、守口保健所と連携し、災害時を想定した訓練を実施【1/14】

■ 「災害時の栄養・食生活支援について ～行政栄養士の災害対応マニュアル～」の作成



作成したリーフレット



スーパーでの災害啓発イベント



災害時を想定した訓練

令和7年度  
最終予算  
(主要事業)

新子育て支援交付金 500,000千円 (優先配分枠) 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業 591千円  
 健康・栄養対策費 (経常) 6,138千円 (栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業)  
 健康・栄養対策費 (政策) 5,022千円 (自然に健康になれる持続可能な食環境づくり)  
 健康寿命延伸プロジェクト 121,507千円 地域医療介護総合確保基金事業 (生活習慣病) 5,246千円  
 生涯歯科保健推進事業 1,848千円 大阪府歯科口腔保健計画推進事業 6,382千円  
 8020運動推進特別事業 3,743千円 障がい者歯科診療センター運営委託事業 23,968千円  
 在宅医療NST連携歯科チーム育成事業 3,473千円 在宅高齢者の歯と口の健康向上推進事業 6,058千円

## 課題・必要な取組み

### ① 家庭での健康的な食生活の実践を促す取組み

- 全く朝食をとらない児童生徒の数が一定数ある

### ② 多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる取組み

《地域等での共食の推進》

- 家庭における共食に関する効果的な啓発
  - 市町村及び関係団体と連携した共食の推進
- 《身近な地域で相談できる体制の推進》
- 栄養ケア・ステーション等の周知

### ③ 社会の変化に即した新しい食育の推進

《自然に健康になれる食環境の整備》

- 多業種が連携した継続的な取組み
  - 健康に関心が薄い層へのアプローチ
- 《デジタル化に対応する食育の推進》
- 調理レシピ動画等を活用した、府民の行動変容を促すための取組み

### ④ 食品関連事業者等との連携による健康的な食生活の実践を促す取組み

《外食や中食、給食施設における取組み》

- V.O.S.メニューの提供拡大
- 《健康づくりに役立つ食品表示の活用を促す取組み》
- 啓発機会の確保

### ⑤ ライフステージに応じた取組み

《保育所・認定こども園・幼稚園における取組み》

- より多くの園で実施できる実践内容の収集と発信
- 普及啓発に効果のある情報発信

《小・中学校等における取組み》

- より多くの学校で実施できる実践内容の収集と発信
- 《高等学校等における取組み》
- 各校で行われる食育の授業時間数の確保

《大学や職場等における取組み》

- より多くの大学、事業所で実施できる実践内容の検討
- 《高齢者の低栄養予防のための取組み》

- フレイル予防に関する啓発の取組みの充実

《ライフコースアプローチを踏まえた取組み》

- 栄養教諭等を中核とした個別的な相談指導の充実
- ライフコースアプローチの概念を踏まえた健康づくりの重要性の発信

課題・必要な取組み

- ⑥ 歯と口の健康づくりの取組み
  - 府民への効果的な周知啓発
    - 歯科保健の推進にかかる多職種との連携
    - 施設職員等に対する研修参加の働きかけ強化
    - 歯科保健の推進に向けた民間企業とのさらなる連携
  - ⑦ 災害時に備えた食育の推進
    - 家庭や給食施設等での食料品の備蓄について普及啓発
- 関係機関等との連携・情報共有

次年度の主な取組み

- ① 家庭での健康的な食生活の実践を促す取組み
  - 保護者や児童生徒への情報発信及び指導の好事例の収集・発信
- ② 多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる取組み
  - 《地域等での共食の推進》
    - 共食にかかる啓発媒体の活用、府健康アプリ「アスマイル」を活用した情報発信
    - イベント等の機会を活用し、共食を広く府民に啓発
  - 《子ども食堂への支援》
    - 「子ども食堂における食の支援事業（食品セット配付）」により支援
    - 《身近な地域で相談できる体制の推進》
      - 市町村等と連携した栄養ケア・ステーションの周知
- ③ 社会の変化に即した新しい食育の推進
  - 《自然に健康になれる食環境の整備》
    - 自然に健康になれる食環境づくりに向けた産学官等による取組み
    - 《デジタル化に対応する食育の推進》
      - SNSを活用したイベントや、調理動画等の情報発信
- ④ 食品関連事業者等との連携による健康的な食生活の実践を促す取組み
  - 《外食や中食、給食施設における取組み》
    - 波及効果の高い飲食店等と連携したV.O.S.メニューの展開
    - 《健康づくりに役立つ食品表示の活用を促す取組み》
      - イベント等の機会を活用し、食品表示の活用を啓発

## 次年度の 主な取組み

### ⑤ ライフステージに応じた取組み

《保育所・認定こども園・幼稚園における取組み》

- 幼児等の健康課題の解決に向けた研修内容を精査

《小・中学校等における取組み》

- 児童生徒等の健康課題の解決に向けた研修内容を精査

《高等学校等における取組み》

- 高等学校において実施できる教科等における実践事例を取り上げ、食育の授業時間数の確保につなげる

《大学や職場等における取組み》

- 地域の特性を踏まえ、保健所単位で専門学校・大学等や企業と連携し、キャンペーン等を実施

- 大学対象情報交換会の開催

《高齢者の低栄養予防のための取組み》

- 関係機関と連携したフレイル予防イベントの開催、市町村へ啓発資材の提供、取組みへの助言等の支援

《ライフコースアプローチを踏まえた取組み》

- 栄養教諭等を中核とした個別的な相談指導の好事例の収集・発信

- 女性及び子どもの健康づくりに関するリーフレット及び「健活キッズしんだん」を活用した啓発の実施  
「若い女性のやせ」に関する啓発の充実

- 大学での自主的で継続した取組みにつながるための支援を行い、他大学での展開を図る

### ⑥ 歯と口の健康づくりの取組み

- SNS、府健康アプリ「アスマイル」、府の広報媒体、公民連携の枠組み等を活用し、幅広い世代の府民への啓発

- 市町村に対する支援を継続

- 働く世代のための8020リテラシー向上事業による企業の取組支援

- 在宅歯科医療における摂食・嚥下障害対応を行う歯科医師・歯科衛生士の育成

- 介護支援専門員（ケアマネージャー）に対する啓発・人材育成

- 公民連携の枠組みを活用し、幅広い世代の府民に啓発を行う

### ⑦ 災害時に備えた食育の推進

- 特定給食施設等指導において、各施設に合った備えをするよう情報提供

- 「災害時の栄養・食生活支援について ～行政栄養士の災害対応マニュアル～」の周知と活用

## 令和8年度 予算 (主要事業)

子ども食堂における食の支援事業 469,972千円【拡充】 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業 585千円

健康・栄養対策費（経常）6,236千円（栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業）

健康・栄養対策費（政策） 3,623千円（自然に健康になれる持続可能な食環境づくり）【減額】

健康寿命延伸プロジェクト 207,591千円【拡充】 地域医療介護総合確保基金事業（生活習慣病）5,246千円

生涯歯科保健推進事業 1,944千円【※】 8020運動推進特別事業 3,745千円【※】

大阪府歯科口腔保健計画推進事業 6,695千円【※】 障がい者歯科診療センター運営委託事業 23,968千円【※】

在宅歯科医療における摂食・嚥下障害対応チーム育成事業 3,462千円【※】

在宅高齢者の歯と口の健康向上推進事業 6,058千円【※】

## (2) 食の安全安心の取組み 計画 P.43-44

### 【府民の行動目標】

▽ 食品の選び方や適切な調理・保管の方法等、食の安全安心に関する基礎的な知識を学び、その知識を踏まえて行動します。

ライフステージに応じた健康行動	乳幼児期～学齢期	食の安全安心に関する正しい食習慣を身につけます。
	青年期～成人期	食の安全安心に関する知識と理解を深め、日常生活の中で実践します。
	高齢期	食の安全安心に関する知識と理解を深め、日常生活の中で実践するとともに、次世代に伝えます。

### 【取組みの目標】

[凡例] ○：改善、△：維持・悪化

	項目	計画策定時の値	現状値	2035年度目標値
1	大阪府の食の安全安心メールマガジンの登録者の増加	9,012 人	9,931人 (R7.12末)【○】	15,000人以上
2	大阪府の食の安全安心関連ホームページのアクセス数の増加	110 万 PV	45万PV※ (R6)【-】	120万PV以上

1・2：大阪府健康医療部生活衛生室食の安全推進課調べ

※PV（ページビュー）数は、令和6年6月に府Webサイト管理システム（CMS）の仕様変更（電子ファイルへのアクセス数が集計外等）のため大幅に減少

### 【現状と課題】

#### 現状・課題

- ▽ 食生活やライフスタイルの変化に対応し、府民の多様なニーズに合った食の安全安心につながる情報を迅速に提供するとともに、府民が必要な情報を容易に入手できる仕組みが必要です。
- ▽ 食品衛生に関する知識や理解を深める学習会などの開催や、インターネットを活用した様々なツールによる情報発信等により、府民一人ひとりが、行政が提供する情報にアクセスできる環境を整え、安全安心な食生活につなげることが重要です。

## 本年度の 取組み

### ① 食の安全安心の情報提供の推進 P43

■特に説明したい項目

《正確でわかりやすい食の安全安心に関する情報の提供》

#### ■食の安全安心メールマガジン、食の安全推進課公式LINE【7月開始】

府公式Xでの食の安全安心に関する情報の配信

- ・食の安全安心メールマガジン配信【4月～12月 251回】
- ・食の安全推進課公式LINE配信【7月～12月 14回】
- ・大阪府公式Xでの配信【4月～12月 19回】

■講習会やイベント会場で、食の安全安心メールマガジンや食の安全推進課公式LINE等についてのリーフレット配布やパネル展示、業界団体の広報誌への記事掲載等を行い、周知と購読募集や友だち募集を行った

■食の安全安心お役立ちポータルサイトで、食の安全安心に関する情報を網羅的に掲載し、随時更新

《食に関する社会の動向を踏まえた食品衛生に関する情報の提供》

[食の安全安心お役立ちポータルサイト](#)

■食の安全安心メールマガジン、食の安全推進課公式LINE及び府公式Xにより、行楽シーズンのバーベキュー等での食中毒予防や冬期のノロウイルス食中毒予防啓発情報を配信



### ② 食品表示の理解促進 P43

《食品表示に関する基礎的知識の普及》

#### ■食品表示学習会の実施

消費者向け食品表示学習会「食品表示まなびぷらす」を実施【府内4か所・5回】

■食の安全安心メールマガジンや食の安全推進課ホームページにおける資料や動画の情報提供

■消費者フェアや各関係団体主催のイベント・研修会において、シールアンケートや動画などを用いた啓発を実施。



「食品表示まなびぷらす」の様子

消費者フェアにおける啓発

本年度の  
取組み

③ リスクコミュニケーションの促進 P44

《食の安全に関するリスクコミュニケーションの促進》

■ 食の安全安心シンポジウムの開催

「カンピロバクター食中毒を考える」（令和8年2月18日開催）（大阪府主催）において、府内で発生件数の多いカンピロバクター食中毒について、消費者、食品関係事業者、有識者等による意見交換を実施【60人】

■ 食の安全安心学習会の実施

小学生とその保護者を対象に、食の安全安心を守る食品販売店や行政の取組みについて、食品売場やバックヤードの見学、手洗い教室やクイズ等により、食中毒の予防法や食品衛生の知識の普及啓発を実施【74人】



食の安全安心学習会の様子

令和7年度  
最終予算  
(主要事業)

食中毒予防対策事業費 1,680千円      食品表示適正化推進事業 9,564千円  
リスクコミュニケーション推進事業費 1,328千円

<p>課題・必要な 取組み</p>	<p>① <b>食の安全安心の情報提供の推進</b>  《正確でわかりやすい食の安全安心に関する情報の提供》  ■ <b>食の安全安心メールマガジン購読者及び食の安全推進課公式LINE友だちの増加、ポータルサイトの随時更新メールマガジン登録者の確保、ポータルサイトの随時更新</b>  ■ 若い世代への啓発  ■ 発信した情報に対する府民の反応確認等、より具体的な効果の検証  《食に関する社会の動向を踏まえた食品衛生に関する情報の提供》  ■ 食に関する社会の流行の情報収集・把握</p> <p>② <b>食品表示の理解促進</b>  《食品表示に関する基礎的知識の普及》  ■ <b>食品表示基準等の改正に伴う周知・啓発が必要</b></p> <p>③ <b>リスクコミュニケーションの促進</b>  《食の安全に関するリスクコミュニケーションの促進》  ■ <b>ニーズの高いテーマの選定、参加しやすい場所の確保・開催方法の検討</b></p>
<p>次年度の 主な取組み</p>	<p>① <b>食の安全安心の情報提供の推進</b>  《正確でわかりやすい食の安全安心に関する情報の提供》  ■ <b>府民の関心やニーズの高い発信内容の検討、実施</b>  ■ 分かりやすく、より広く周知できる啓発方法の検討、実施  ■ 自ら食の安全を守る行動へとつながりやすい情報発信の検討、実施  《食に関する社会の動向を踏まえた食品衛生に関する情報の提供》  ■ 季節や年中行事などの時期に応じた食中毒予防啓発の実施</p> <p>② <b>食品表示の理解促進</b>  《食品表示に関する基礎的知識の普及》  ■ <b>研修会の実施やホームページ等を通じた分かりやすい啓発</b></p> <p>③ <b>リスクコミュニケーションの促進</b>  《食の安全に関するリスクコミュニケーションの促進》  ■ <b>アンケート結果等から府民ニーズを確認し、より関心の高いテーマで実施</b></p>
<p>令和8年度 予算 (主要事業)</p>	<p>食中毒予防対策事業 1,706千円      食品表示適正化推進事業 9,926千円  リスクコミュニケーション推進事業 1,447千円</p>

### (3) 生産から消費までを通じた食育の推進 計画 P.45-47

#### 【府民の行動目標】

- ▽ 生産から消費に至る食の循環を意識し、大阪でとれる農林水産物等を積極的に利用するとともに、食品ロスの削減に主体的に取り組み、地域や家庭で受け継がれてきた郷土料理、伝統食材等の食文化を次世代に伝えます。

ライフステージに応じた健康行動	項目	地産地消	食品ロス	食文化
	乳幼児期～学齢期	大阪産(もん)について学びます。	食べ物を大切にする感謝の心を学びます。	地域や家庭で受け継がれてきた食文化を学びます。
	青年期～成人期	大阪産(もん)に触れる機会に参加し、積極的に利用します。	食品ロスの現状や削減の必要性について認識を深め、食品ロスの削減に主体的に取り組みます。	地域や家庭で受け継がれてきた食文化に関心を持ち、日々の食事に取り入れるよう心がけます。
	高齢期			地域や家庭で受け継がれてきた食文化や食に対する感謝の気持ちの大切さを次世代に伝えます。

#### 【取組みの目標】

	項目	計画策定時の値	現状値	2035年度目標値
1	郷土料理等の地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかい等の食べ方・作法を継承し、伝えている府民の割合の増加	28.6% (R4)	34.5% (R7) 【〇】	30%以上

1：大阪府健康づくり実態調査（大阪府）

#### 【現状と課題】

##### 現状・課題

- ▽ 府民が身近に生産から消費まで体験できる機会づくりを進めることが必要です。
- ▽ 大阪産(もん)を実際に手にし、購入できる販売店や料理店等を増やし、地産地消、消費拡大を図ることが必要です。
- ▽ 府民一人ひとりが食への感謝の気持ちを深めるとともに、食品ロスの現状や削減の必要性についても認識を深め、食品ロスの削減に主体的に取り組むことが必要です。
- ▽ 伝統的な食文化に関する府民の関心と理解を深め、次世代に伝えていく取組みが必要です。

## 本年度の 取組み

### ① 地産地消の推進 P45

### ■ 特に説明したい項目

《食の生産・流通に関する体験・交流の促進》

- 府内の朝市・直売所の情報を府ホームページに掲載
- 地場産物を活用した食育教材ポータルサイトの作成  
各市町村で実践された地場産物を活用した食育の教材を収集し、活用例とともにウェブサイトに掲載

《大阪産農水産物の利用促進及び消費拡大》

- 大阪産(もん)を購入できる販売店や料理店等の拡大【667件 (R4) →776件 (R6)】
  - 大阪産(もん)を味わえる・買える・体験できるお店や施設等の情報を発信する「おおさかもんマップ」の運用を開始 (R7.3月～)
  - ホームページ、大阪産(もん)FacebookやX等のSNS、大阪産(もん)ファン通信等を通じた情報発信とともに、発信力のある場所等でイベントを開催
  - 市町村や民間団体等が実施する地産地消の推進、食文化の継承等の食育活動に補助  
【事業実施主体4者、啓発人数25,526人(予定)】
  - 全国豊かな海づくり大会～魚庭の海おおさか大会～の企画で開発した「魚庭の海づくり丼」をテレビ番組で紹介、イベントでの実食
  - 「大阪の畜産えもんBOOK」の冊子・リーフレット等の啓発資材やホームページへの掲載等を通じて魅力発信
- 《大阪産農林水産物を府民が身近に触れられる場の情報発信》
- 府内の朝市・直売所、農業体験農園(もぎとり園)及び農に親しむ施設について、府のホームページに掲載
  - 府立花の文化園で開催するイベントについて、報道提供等を行い、広く府民に周知
- 魚庭の海づくり大会を1年前プレイイベントと同時開催し、大阪の漁業や水産物の魅力をPR  
【10/26来場者約17,000人】

《環境と調和のとれた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進》

- 「大阪府栽培漁業基本計画」に基づき、キジハタ等の種苗の生産と放流を実施
- 全国豊かな海づくり大会の機運醸成の一環として、府内各地で大会記念リレー放流を実施
- 漁業者の自主的な資源管理を推進するため、資源管理協定の策定支援及び履行確認



1年前プレイイベント

本年度の  
取組み

② **食品ロスの削減** P46

■ 食育・SDG s 指導関係者との連携

- ・ 府内管理栄養士養成施設8大学と連携したプロジェクトにより、学生が考案した食品ロス削減レシピを小売店の売り場等で掲示
- ・ 学校でのSDG s 授業に「なんでやろう？食品ロスカードゲーム」を貸出

■ 「大阪府食品ロス削減推進計画」に基づく市町村や事業者と連携した取組み

- ・ 小売店と連携した食品ロス削減キャンペーン等の実施
- ・ ポータルサイト、カードゲーム等の活用
- ・ 食品ロス削減を実践・啓発するボランティア「もったいないやん活動隊」による地域での府民啓発

③ **食文化の継承** P46

■ 全国学校給食週間（1.24-1.30）にあわせ、市町村及び府立学校で給食献立に地域の食材や郷土料理等を導入

■ パンフレットを活用した「なにわ伝統野菜」の啓発

■ 大阪府食生活改善連絡協議会が行う日本型食生活の普及啓発活動への支援



なんでやろう？  
食品ロスカードゲーム



「もったいないやん活動隊」による府民啓発

令和7年度  
最終予算  
(主要事業)

大阪産(もん)全国魅力発信事業	2,813千円	大阪府農水産物消費拡大事業	1,655千円
畜産経営安定対策推進事業	363千円	海業取組促進事業	1,500千円
豊かな大阪湾魅力発信事業	4,065千円	資源管理計画推進費	860千円
消費者行動促進支援事業	2,106千円		
健康・栄養対策費(経常)	6,138千円	(栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業)	

課題・必要な  
取組み

① **地産地消の推進**

《共通》

- 府内朝市や直売所、農業体験農園、花の文化園の認知度向上  
《食の生産・流通に関する体験・交流の促進》
- 食に関する指導の手引（第二次改訂版）に沿った、研修内容の充実

② **食品ロスの削減**

- 食品ロス削減に向けた取組み促進

③ **食文化の継承**

- 市町村間での取組み内容の差
- なにわの伝統野菜の認知度向上

次年度の  
主な取組み

① **地産地消の推進**

《食の生産・流通に関する体験・交流の促進》

- 効果的な情報発信
- 大阪産魚介類に関する出前魚講習会
- 他県の好事例も参考に研修内容の精査、質の向上  
《大阪産農林水産物の利用促進及び消費拡大》

- 大阪産(もん)に関する情報発信とイベント実施
- 取組み事例をホームページに掲載、補助事業の活用について、各種機会を捉えて周知
- ホームページ掲載内容の充実やパンフレットの活用による情報発信  
《大阪産農林水産物を府民が身近に触れられる場の情報発信》

- 海業の調査業務、漁業協同組合の取組みについて情報収集・最新情報の発信

■ **第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭の海おおさか大会～を開催し、大阪の漁業や水産物の魅力を全国へPR**

- 大阪産(もん)に関する情報の充実、発信に向けた取組み  
《環境と調和のとれた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進》
- 全国豊かな海づくり大会に向け、府内各地で大会記念リレー放流を実施

② **食品ロスの削減**

- 府内管理栄養士養成施設8大学と連携したプロジェクト
- 学校関係者等への情報提供、授業へのカードゲーム貸出
- 食品ロス削減キャンペーン等の実施
- 養成したボランティアの食品ロス削減活動への参画推進

③ **食文化の継承**

- 好事例を紹介し、地域の食材や郷土料理等を取り入れた給食献立の実施
- 地場産物を活用した食育教材ポータルサイトの啓発

令和8年度  
予算  
(主要事業)

大阪産(もん)全国魅力発信事業 3,528千円 大阪府農水産物消費拡大事業 1,899千円  
 海業取組促進事業 1,500千円 全国豊かな海づくり大会推進事業費 596,086千円【新規】  
 資源管理計画推進費 860千円 消費者行動促進支援事業 1,500千円  
 食品ロス削減連携活動推進事業 3084千円【新規】  
 健康・栄養対策費(経常) 6,236千円(栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業)

## ① 新たな食文化の提案 P47

■特に説明したい項目

### ■「おおさかEXPOヘルシーメニュー」の展開

- ・R6年度ヘルシーメニューコンテスト応募校のうち、大手前大学、大阪樟蔭女子大学、千里金蘭大学の学生食堂にて応募メニューを期間限定提供【4/14~18、6/30~7/4、7/3~4】
- ・大阪・関西の食と文化の継承、発展に向けた情報発信を目的に、府内の食品企業や大学協力のもと、万博会場内にて「食のDEMO LIVE in 大阪ヘルスケアPV」を開催  
全9メニューのおおさかEXPOヘルシーメニューを披露【8/23~24 来場者約450人（2日間計）】
- ・府内飲食店にて「おおさかEXPOヘルシーメニュー+適正糖質」特別メニューの提供【11/13~2】



大手前大学

大阪樟蔭女子大学

千里金蘭大学

本年度の  
取組み



食のDEMO LIVE in 大阪ヘルスケアPV



府内飲食店提供

<p>令和7年度 最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費（経常） 6,138千円（栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業） 万博自治体催事関連事業 55,000千円</p>
<p>課題・必要な 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年大阪・関西万博後も、庁内関係部局をはじめ、企業や関係機関団体との連携により、一層の食育推進をはかり、府民の健康寿命の延伸をめざす。</li> <li>■ 「おおさかEXPOヘルシーメニュー」の認知拡大と府民の行動変容を促す取組み</li> </ul>
<p>令和8年度 予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費（経常） 6,236千円（栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業） 万博レガシーを継承した健活10プロモーション 120,000千円【新規】</p>

## 2 食育を支える社会環境整備

### (1) 多様な主体による食育推進運動の展開 計画 P.48-49

#### 【取組みの目標】

[凡例] ○：改善、△：維持・悪化

	項目	計画策定時の値	現状値	2035年度目標値
1	食育に関心を持っている府民の割合の増加	71.0% (R4)	66.3% (R7) 【△】	75%以上
2	食育推進に携わるボランティアの増加	4,753人 (R3)	4,642人 (R7.3) 【△】	増加

1：大阪府健康づくり実態調査（大阪府）

2：大阪府健康医療部健康推進室調べ

#### ■特に説明したい項目

#### 本年度の取組み

《食育を府民運動とする機運を高める取組み》

#### ■ SNSを活用した食育に関する情報発信

- 健活10X（旧Twitter）
- 健活10 Instagram
- おおさか食育通信Facebook
- 大阪府公式X（旧Twitter）

#### ■ 企業連携による啓発

- ファミリーマート×大塚製薬×大阪府「ちゃんとお朝ごはんキャンペーン」
- ・店内ビジョンでの動画配信【4/1~14府内約900店舗】
- ・ポスターやPOPの掲出【4/1以降府内全店舗（約1,340店舗）】

#### ■ 関係課との連携

- 教育庁保健体育課
- ・府内小中学校約1,500校への配布（R.7.5以降）



店内ビジョンでの動画配信



店頭掲示ポスター

<p><b>本年度の 取組み</b></p>	<p>《「大阪府食育推進強化月間」及び「野菜バリバリ朝食モリモリ推進の日」の取組みの充実》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 府健康アプリ「アスマイル」を活用した食育に関する情報発信 大阪府食育推進強化月間及び各月の食育の日に食生活の改善を促すコラムを配信【10回】</li> </ul> <p>《市町村食育推進計画の策定促進と施策の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保健所での取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村に対し、計画の策定及び改定を支援</li> <li>・市町村栄養事業担当者連絡会議の開催</li> <li>・地域の優先的な課題の把握、地域の特性を踏まえた取組みを推進する仕組みづくりを検討</li> </ul> </li> </ul> <p>《食に関するボランティア等が行う食育活動への支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食生活改善推進員リーダー研修会の開催【2/26 45人】</li> <li>■ 保健所での取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動栄養士会や食生活改善推進協議会の支援</li> <li>・管理栄養士養成施設と連携した地域での食育活動の検討</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>令和7年度 最終予算 (主要事業)</b></p>	<p>健康・栄養対策費（経常） 6,138千円（栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業）</p>
<p><b>課題・必要な 取組み</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食育に関する府民の関心度を上げるための取組み</li> <li>■ 市町村等と連携した食育ボランティアの育成・支援</li> </ul>
<p><b>次年度の主な 取組み</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SNSを活用した食育に関する情報発信</li> <li>■ 食育ボランティア（大阪府食生活改善連絡協議会等）と連携した取組みの実施、活動機会の提供</li> <li>■ 管理栄養士養成施設と連携した事業展開</li> </ul>
<p><b>令和8年度 予算 (主要事業)</b></p>	<p>健康・栄養対策費（経常） 6,236千円（栄養士法等関係事業費・食生活改善地域推進事業）</p>

### ■特に説明したい項目

■ 大阪府食育推進ネットワーク会議において、各団体活動を活性化  
各参画団体の食育推進事業計画及び実績報告をとりまとめ、会議にて共有

■ 大阪府食育推進ネットワーク会議による食育イベントの開催  
「おおさか食育の縁日 in 近鉄百貨店上本町店」【11/22 233人参加】

主催 大阪府食育推進ネットワーク会議・大阪府  
共催 近鉄百貨店上本町店  
協力 江崎グリコ株式会社・カフェ英国屋  
内容 団体による食育ミニゲーム等のブース出展等

### 本年度の 取組み



おおさか食育の縁日 in 近鉄百貨店上本町店

<p>令和7年度 最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費（経常） 6,138千円（栄養士法等関係事業費・食生活改善地域推進事業）</p>
<p>課題・必要な 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各団体等が連携・協働できる機会の確保</li> <li>■ 関係機関、団体による取組みの活性化</li> <li>■ <b>大阪府食育推進ネットワーク会議の活性化</b></li> <li>■ 企業等との連携強化</li> </ul>
<p>次年度の主な 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>大阪府食育推進ネットワーク会議と連携した食育の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育イベントの開催</li> <li>・共通の啓発媒体を活用し、府及び各参画団体が実施するイベント等で食育啓発</li> <li>・SNSの活用による情報発信 等</li> </ul> </li> <li>■ 企業等との連携を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>食育を府民運動として推進することに賛同する団体・企業等を増やし、連携事業を実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>令和8年度 予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費（経常） 6,236千円（栄養士法等関係事業・食生活改善地域推進事業）</p>

## 令和7年度 取組み評価

令和6年3月、令和6（2024）年度から令和17（2035）年度までの12年間を計画期間とする「第4次大阪府食育推進計画」を策定。令和7年度は、当計画に基づく事業開始から2年目であり、万博関連事業をはじめ、企業や関係団体と連携した様々な取組みを実施した。

### 健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進

健康的な食生活の実践の促進 / 食の安全安心の取組み / 生産から消費までを通じた食育の推進

#### 万博を契機とした食育の推進

- ・「自然に健康になれる持続可能な食環境づくり事業」では、企業や大学・団体等を対象としたワークショップの開催や一体的な啓発、イベント等を通じて産官学等での連携を図ることができた。
- ・万博会場でのトークショーやデモキッチンエリアでのイベントにより、「おおさかEXPOヘルシーメニュー」や大阪府の食育活動を府民のみならず、広く周知することができた。

### 食育を支える社会環境整備

多様な主体による食育推進運動の展開 / 多様な主体が参画したネットワークの強化

- ・庁内食育関係部局において、参加型のイベント開催やSNS等による情報発信を行うことで、食育が府民運動として定着しつつある。また、関係機関・企業団体の連携を深めることができた。
- ・大阪府食育ネットワーク会議主催「おおさか食育の縁日 in 近鉄百貨店上本町店」では、参画団体及び企業と連携し、食への関心度に関わらず、幅広い層を対象とした食育を実施できた。

## 【令和7年度 事業評価】概ね予定通り

### 来年度に向けた課題・方向性

事業は概ね予定通り進んでいるが、「野菜摂取量の増加」、「朝食欠食の減少」、「食塩摂取量の減少」を軸に栄養バランスの取れた食生活を実践する府民の割合が増加するよう、引き続き、「おおさかEXPOヘルシーメニュー」及び「V.O.S.メニュー」の普及啓発等に取り組む必要がある。また、各項目において設定している数値目標を注視しながら、庁内関係部局をはじめ、企業や関係機関団体とのさらなる連携により、健康無関心層も含めた府民が食育に関心を持ち、行動変容を促すような取組みを進めることで、健康寿命の延伸をめざす。